



平成 28 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 s M e d i o  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 田 中 俊 輔  
(コード番号：3913 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 経 営 企 画 室 室 長 北 埜 弘 剛  
(TEL. 03-3452-1227)

### 平成 28 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成 28 年 2 月 12 日に公表しました平成 28 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 28 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利 益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	636	29	24	9	5.04
実績値 (B)	689	154	△1	△11	△6.12
増減額 (B)-(A)	53	125	△26	△20	—
増減率 (%)	8.4	428.3	△106.6	△221.4	—
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 12 月期 第 2 四半期)	643	142	155	85	51.28

#### 2. 差異の理由

売上高は、為替の円高による円建売上高の目減りはありましたが、①海外向けなどの売上が引き続き好調であったこと、②計画を上回る新規分野での新規受注開発案件を獲得できたことなどを要因として、計画を 53 百万円上回りました。

営業利益は、①売上高が計画を大幅に上回ったこと、②開発人件費を効率的に抑制できたこと、③旅費交通費や外注費といった経費削減に努めたことなどを要因として、計画を 125 百万円上回りました。

経常利益は、想定以上の為替相場の急激な円高を受け、為替差損を 157 百万円計上したことで、計画を 26 百万円下回りました。

以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、計画を 20 百万円下回り、四半期純損失 11 百万円を計上することとなりました。

以 上